



お空のくもよかぜさんよ

子ども6 子ども全 子ども5 子ども全 子ども4 子ども全 子ども3 子ども全 子ども2 子ども全 子ども1 子ども全 子ども全

お空のくもよかぜさんよ。あしたの天気おしゃべりでたべるとおいしいな。きょうのきゅうしょくなかにかな?きょうは、カレーライスです。

うん。あそぼう。あそぼう。

お空のくもよ、かぜさんよ。あしたの天気おしゃべりでたべるとおいしいな。

ほくもわたしも一年生。

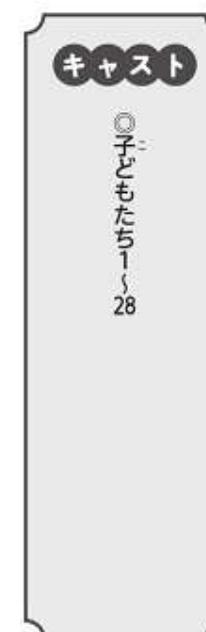
四月○日に一年生になりました。

たんにんの先生は○○先生と○○先生です。

やさしくておもしろい先生です。

おともだちもできました。みなさんあそびましょ。

*墓が開く。子どもたちが並んでいる。(入数に応じてひな壇等を使って立体的に並ぶと視覚的にまとまります。)



低学年

お空のくもよかぜさんよ
あらすじ

入学式、初めての給食。夏休み、遠足、運動会。

子どもたちは春夏秋冬それぞれの季節にたくさんの思い出を作ったことでしょう。成長とともに子どもたちの思い出はこれからどんどん作られることでしょう。

空の雲や風に明日の天気を聞きながら、子どもたちは一年間の学校生活をよびかけの形で振り返りました。三学期の授業参観や一日入学一年生を迎える会での取り組みにぴったりです。

●上演時間 約10分

子ども15 子ども14 子ども13 子ども12 子ども全 子ども8 子ども9 子ども10 子ども11 子ども全 子ども1 子ども2 子ども3 子ども4 子ども5 子ども全 子ども6

ミーンミーンミーン。

せみがないてるよ。

*水をかけるふりをする。

やつたなし。バシャバシャバシャ!

*水をかけられます。
*子ども14耳に手を当てる

キツキツキー! キツキツキー!

お空のくもよかぜさんよ。あしたの天気おしゃべりでまづくらなつ休み。

日やけでまづくらなつ休み。

バシャバシャバシャ!

*金員さるのマネ

ミーをあわせてください。いただきます。

いたたきます。もぐもぐもぐもぐ。

お空のくもよ、かぜさんよ。あしたの天気おしゃべり。あしたはたのしいえんそくです。みんなみたひだ

みみでおでん♪ おいしいな。

ここんがいたね。

キツキツキーって こてか。

みんなみたひだ

キツキツキー。



Who are you? ~英語で遊ぼう~

カバ

Who are you?
あなたはだれね?

カバ

I am a monkey.

キコハ

Who are you?

キコハ

I am a rabbit!

キコハ

I am a rabbit!

キコハ

We are "The Rabbits"!

キコハ

Jump! Jump! Jump! Jump! Jump!

カバ

Jump! Jump! Jump! Jump! Jump!

カバ

Rabbits jump around the grapevine.

カバ

Monkeys appear from the opposite side. They pick at the hippopotamus, and they are touching it.

カバ

Who are you?

カバ

I am a monkey.

キャスト

- ナレーター（数人） ○(わやか)（数人）
- やの（数人） ○ねこ（数人） ○いぬ（数人）
- パンダ（数人） ○トイイオノ（数人）
- ハムスター（数人）
- ミクティ先生 *英語の先生役（数人）
- クリン（先生） ○カバ（先生） 初演では、先生方が演じました。

プロローグ

◆キャストは学年・学年の実態に合わせて人数を調整してください。

◆動物名は例ですので複数することも減らすことも可能。

◆文中的ミクティ先生は、当時の足利市立栗田小学校の英語クラブの運営者。

◆キャストは学級・学年の実態に合わせて人数を調整してください。

◆動物名は例ですので複数することも減らすことも可能。

◆文中的ミクティ先生は、当時の足利市立栗田小学校の英語クラブの運営者。

◆キャストは学級・学年の実態に合わせて人数を調整してください。

◆文中的ミクティ先生は、当時の足利市立栗田小学校の英語クラブの運営者。

◆文中的ミクティ先生は、当時の足利市立栗田小学校の英語クラブの運営者。

◆文中的ミクティ先生は、当時の足利市立栗田小学校の英語クラブの運営者。

◆文中的ミクティ先生は、当時の足利市立栗田小学校の英語クラブの運営者。

ナレーター Once upon a time there was a little country.

むかしむかしのへるひにちじごとくにが
あひたみゆ。

All animals were living there happily.

みんなひやつたまくわくへ しるわやくへじくへ
したた。

ナレーター Today, they went to picnic.

あひなへせ みんなひよクリック。

They went into the wood.

ねじかせじたよ。森の中。

*音楽が大きくなつて幕が開く。ナレーター登場。

*音楽が大きくなつて幕が開く。ナレーター登場。

*おひよ。キツヘンヒカバがシャイタウル。わかれじふる。

*キコハヒカバは、マーット人形でも可。

*おおはり黒子はさせないよ。

*わらんの間もがんばつー。

*この日の設定は学校や団体の人数に合わせて枚数に

取り組んでください。

動物たちのハローンハッ Animal's Hello Song

やのあおたねがジャハアしながらの顔譜 キリンをお珍し
めへじるおもいにこ。
The rabbits appear with jumping. They are looking
at the grapevine with interest.

◆アートの状況によってはもへじ共演を入れてしま
う。

I am a monkey.
I am a monkey.

We are "The Monkeys"!
We are "The Monkeys"!

EEEEE EEEEEE EEEEEE EEEEEE

*おひよおおたねがジャハアしながらの顔譜 キリンをお珍し
めへじるおもいにこ。

The cats appear and they are playing with the
grapevine.

I am a cat.
I am a cat.



キャスト

◎ナレーター1・2（劇の進行役）交代可能
◎コロボックル（4～5人で数チーム）

*コロボックルたちは場面ごとに交代可能

◎村人の家族（少年・父・母・祖父・祖母）

一場 あさひのなかで

*効果音（風の音）
*緊急式住居（中央に設置されている。入口には幕が張られている。）

*風の音が小さくなつてナレーター1・2登場

ここは、木のいの村です。

人々は魚をとる、かりてなかよくくらしてい。

でも、こしは大雪の日がつづき、外に出ることがきませんでした。

たべものはもうどこにもおやつ？ 小さな、聞こえました。

そつと見てみま～よう。

*ナレーター1・2静かにコロボックル歌いながら

ナレーター1

ナレーター2

*一同、舞台下手に向かつて、深々と頭を下げる。家の中に戻る。
*人数調整のため、コロボックルたちや家族さらには

*親父母うなずき言う。

これは、メムロの森の神様が運んでくれたのであろう。

*一同、舞台下手に向かつて、深々と頭を下げる。家の中に戻る。

メムロの森の神様が運んでくれたのであろう。

二場 コロボックルのお土産

コロボックル全

コロボックル・コロコロコロ。

*以下、この歌（リズム）は何度も繰り返されますので、場面に応じた動きを工夫するとよいでしょう。

コロボックル全

コロボックル・コロコロコロ。コロボックル・コロコロコロ。

*コロボックルたち、家の入口近くで耳に手を当てる。

*コロボックルたち、頭を合わせてつなぐ。

*コロボックルたち、白い袋を数個、入口において、口に入差し指を当て、今度は小さな声で歌いながら退場。

コロボックル全

コロボックル・コロコロコロ。コロボックル・コロコロコロ。

*客席に口に人差し指を当てた顔を向ける。

*入口から少年が顔を出す。

もう、朝から雪はやんだようだ。それにしてもおなかがすいた。

*少年、入口から出ようとして袋につまずいて転ぶ。

少年

ナレーターはここで交代可能。

ナレーター1 ～1・2登場

ト場 月見ばんに

ナレーター1

ナレーター2

メムロの神様、気に入ってくれるかな。

そりや気に入ってくれるよ。おまえがいつしょ

うけんめいに作った笛だからね。

*大きな袋を雪草にして白い袋を背負っている。

四場 夜明けとともに

これはどうだ。これもよくできているだろ。

おや？「ゴミかい？」

ろうそくだよ！ ろうそく――

雪の下からやつとこさほりだしたおイモもいれ

とくれ。

さあ、これでいいじやろ。きつと喜んでください

るだろ。さあ、もう寝る時間じゃ。休むとし

よう。

*家族が家の中に入り始めるが、少年は立ち止まつたまま。

ほれ、入った入つた。

お：おら、メムロの神様に合いてえ。合つて、

この間のお礼を言いたいんだ。

それは、なんねえ。メム・の神様を人間が見て

はいけねえんだ。

*祖母が、そらす。

：それはな、人間、姿を見られたや、涼は、メムロの森から出て行かれてしまうから、や。

さついくべ。

*祖父母、少年家の中にいる。

ムロの森から出て行かれてしまうから、や。

お：おら、メム・の神様を人間が見て

はいけねえんだ。

*祖母が、そらす。

：それはな、人間、姿を見られたや、涼は、メムロの森から出て行かれてしまうから、や。

さついくべ。

*祖父母、少年家の中にいる。

ムロの森から出て行かれてしまうから、や。

さついくべ。

つける道具。

*コロボックル4、袋に手を入れる。

コロボックル4

コロボックル5

コロコロコロ丸いものだ。

コロコロコロく。見せて〜。

*コロボックル5、笛の中をのぞきこんだり振つたり

している。

コロコロコロなーんにも入つてない。

コロコロコロく。見せて〜。

コロボックル4

コロボックル5

コロコロコロく。見せて〜。

コロコロコロく。見せて〜。

*コロボックル4、笛に息を吹き込む。

*ビーという甲高い音がする。

*コロボックルたち、あわてて隠れる。

*ひな壇等を利用して隠れられる場所を作つておくとよいでしょう。

*コロボックル、恐る恐る奥へ近づいて

コロコロコロく。これはやつぱりかえしてお」

う。

*笛をそつと、入口近くに置こうとする。

*「コロボックル4、家中から少年に腕をつかまれる。

コロボックル4

コロコロコロく。はなしてー はなしてー！

コロボックル全

コロボックル・コロコロコロ。コロボックル・コロコロコロ。

コロボックル・コロコロコロ。

コロボックル・コロコロコロ。

コロボックルのを5人と想定していますが、演じる子どもたちの人数に併せて調整してください。

*一人のコロボックルが、お礼の袋を見つける。

コロコロコロくなんだろう？

コロコロコロく。のぞいてみよう。

コロボックル1・2がのぞきこむ。

コロコロコロなにが入つてたの？

コロコロコロ！ 恐る恐る手を入れる。

*コロボックル1、恐る恐る手を入れて

おイモだー！ おいしそう。

*コロボックル2袋に手を入れて

コロコロコロ？ なんだこれ？

コロ？ ゴミじゃない？

*コロボックル2袋に手を入れて

コロコロコロコロ！ それはろうそく。火を

お：おどかしてごめんよ。ぼくはだだ：お礼

が言い かつただけなんだ。

*コ ノル・コロコロコロ。ビー。コロボッ

クル・コロコロコロ。ビー。

*ビーはコロボックルが持ち帰った笛の音。

*騒ぎに気づいた家族が家から出でてくる。

*腕を組んで、少年を戒めるが、コロボックルたちが

退場した方へ向かって深々と頭を下げ、家の中に戻る。

*ナレーター1・2登場

コロボックルたち全員でコロボックル4を引っ張る

(大きながぶ状態)

*少年が現れる。手が離れ、コロボックルたちはすみ

で後方に倒れる。すかさず物陰に隠れる。

*後方に倒れる。すかさず物陰に隠れる。

*コノノル・な声で歌いながら退場。

*コノノル・な声で歌いながら退場。

*ナレーター1 この日から、コロボックルたちは、村に現れなくなりました。

ナレーター2 メムロの森から出でていってしまったのでしよう

か？

いいえ、実は…この会場にもちやーんといふん

ですよ。

みなさんといっしょにげきをたのしんでいまし

たよ。

ナレーター1 ただ…かくれることがずっとずっと

